

2023年1月1日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒238番（旧69番）

『天地造りて』

聖書⇒ヨハネによる福音書 1:1~5, 10~12, 17~18節（MM姉）

『初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。』

言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。

律法はモーセを通して与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである。いまだかつて、神を見た者はいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。』

礼拝讃美歌⇒77番（旧185番）

『知恵なる方は』

聖書⇒詩編 46:2~6, 11~12節（ES姉）

『神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる。』

わたしたちは決して恐れない／地が姿を変え／山々が揺らいで海の中に移るとも

海の水が騒ぎ、沸き返り／その高ぶるさまに山々が震えるとも。〔セラ

大河とその流れは、神の都に喜びを与える／いと高き神のいます聖所に。』

神はその中にいまし、都は揺らぐことがない。夜明けとともに、神は助けをお与えになる。』

「力を捨てよ、知れ／わたしは神。国々にあがめられ、この地であがめられる。」
万軍の主はわたしたちと共にいます。ヤコブの神はわたしたちの砦の塔。〔セラ〕

（祈）

聖書⇒ヨハネによる福音書 3:16~17 節 (SK 兄)

『神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。』

(祈)

礼拝讃美歌⇒468 番 (旧 127 番)

『喜び伝えよ』

《パン裂き》

聖書⇒出エジプト記 12:1~9 節 (KH 兄)

『エジプトの国で、主はモーセとアロンに言われた。「この月をあなたたちの正月とし、年の初めの月とみなさい。イスラエルの共同体全体に次のように告げなさい。『今月の十日、人はそれぞれ父の家ごとに、すなわち家族ごとに小羊を一匹用意しなければならない。もし、家族が少人数で小羊一匹を食べきれない場合には、隣の家族と共に、人数に見合うものを用意し、めいめいの食べる量に見合う小羊を選ばねばならない。その小羊は、傷のない一歳の雄でなければならない。用意するのは羊でも山羊でもよい。それは、この月の十四日まで取り分けておき、イスラエルの共同体の会衆が皆で夕暮れにそれを屠り、その血を取って、小羊を食べる家の入り口の二本の柱と鴨居に塗る。』

(式)

礼拝讃美歌⇒146 番 (旧 61 番)

『小羊の血にて』

《建徳》

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 1:3~7 節 (KH 兄)

『わたしたちの主イエス・キリストの父である神は、ほめたたえられますように。神は、わたしたちをキリストにおいて、天のあらゆる霊的な祝福で満たしてくださいました。天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。イエス・キリストによって神の子にしようと、御心のままに前もってお定めになったのです。神がその愛する御子によって与えてくださった輝かしい恵みを、わたしたちがたたえるためです。わたしたちはこの御子において、その血によって贖われ、罪を赦されました。これは、神の豊かな恵みによるものです。』

聖書⇒マタイによる福音書 14:15~20a 節 (TM 兄)

『夕暮れになったので、弟子たちがイエスのそばに来て言った。「ここは人里離れた所で、もう時間もたちました。群衆を解散させてください。そうすれば、自分で村へ食べ物を買って行くでしょう。」イエスは言われた。「行かせることはない。あなたがたが彼らに食べる物を与えなさい。」弟子たちは言った。「ここにはパン五つと魚二匹しかありません。」イエスは、「それをここに持って来なさい」と言い、群衆には草の上に座るようにお命じになった。そして、五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて弟子たちにお渡しになった。弟子たちはそのパンを群衆に与えた。すべての人が食べて満腹した。』

聖書⇒ルカによる福音書 5:3~6 節

『そこでイエスは、そのうちの一そうであるシモンの持ち舟に乗り、岸から少し漕ぎ出すようにお頼みになった。そして、腰を下ろして舟から群衆に教え始められた。話し終わったとき、シモンに、「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をきなさい」と言われた。シモンは、「先生、わたしたちは、夜通し苦労しましたが、何もとれませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましよう」と答えた。そして、漁師たちがそのとおりにすると、おびたしい魚がかかり、網が破れそうになった。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 2:7~8 節

『イエスが、「水がめに水をいっぱい入れなさい」と言われると、召し使いたちは、かめの縁まで水を満たした。イエスは、「さあ、それをくんで宴会の世話役のところへ持って行きなさい」と言われた。召し使いたちは運んで行った。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 11:38 節

『イエスが、「水がめに水をいっぱい入れなさい」と言われると、召し使いたちは、かめの縁まで水を満たした。イエスは、「さあ、それをくんで宴会の世話役のところへ持って行きなさい」と言われた。召し使いたちは運んで行った。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 11:38 節

『イエスは、再び心に憤りを覚えて、墓に来られた。墓は洞穴で、石でふさがれていた。』

礼拝讃美歌⇒469 番 (旧 28 番曲)

『功なきわれを』

《建徳要旨》